

「奥田は遠くへ、オルゴールの小さな博物館」ができて二年たった。無事でオルゴールを集めていた同会員の社長さん、二人で多くの人にオルゴールの魅力を知ってもらいたい」と、自らを開放して始めたミニ博物館だ。開館するのは土曜日と日曜日、取り立てず豪華なものもなかったのに口コミで広がった。この間に約千人がやって来たという。八十台あるオルゴールのうち、最も古いのは百四十十年前の物に作られたものだが、そのすべてがいまも音をかき立てている。

郷土芸術研究所開設であり、十台の大オルゴールと二十台の、日本女子大の方へ歩いて五分、小さなオルゴール、手回しオルゴール、オルゴール博物館は、戸ノ、丘橋のオビエノは、五つの坂に囲まれたビルの中にあり、六、部屋に陳列されている。そのすべて



来館者は自分でオルゴールを操作し、昔の音楽を楽しめる

土日 来館者1000人に

て集めたのが、館長で同会員の市原の名村さんです。「十三年前に、奥田の昔からヨロッパ旅行のお土産に小さなオルゴールをもらいましたね。それでオルゴールといえは小物入れについてるものが知らなかったんです。これは面白い贈り物

本の題名がいい、購入者と歴史を贈り物とするようなので、それでオルゴールのよさを伝えたんです」といいます。

スで作られたもの。シリンドラーは木でできたり、それに鉄製のピンが押し込まれ、その間に小さなスプリングがはまっています。最初の日

本製は一世向け、一八九五年といふから明治二十八年に作られた「奥田」だ。館長に力があいており、音楽家協会に任じられた。最初の日本製だ。

人気上々
オルゴール博物館
満1歳

140年前の小さなメロデーも聴かせます

名村さんには「オルゴールが音楽を記録する生きた道具として、もてはやされたのは、一七〇〇年代後半からわすかには、奥田の昔からヨロッパ旅行のお土産に小さなオルゴールをもらいましたね。それでオルゴールといえは小物入れについてるものが知らなかったんです。これは面白い贈り物

いまのオルゴールは、すっかりメカセリ化してしまいましたが、古いものはどうして音楽をかきとる機械として、オルゴールに、愛着を持っていかなくてはならないか、オルゴール博物館は、

館長で同会員の市原の名村さんです。「十三年前に、奥田の昔からヨロッパ旅行のお土産に小さなオルゴールをもらいましたね。それでオルゴールといえは小物入れについてるものが知らなかったんです。これは面白い贈り物

本の題名がいい、購入者と歴史を贈り物とするようなので、それでオルゴールのよさを伝えたんです」といいます。

スで作られたもの。シリンドラーは木でできたり、それに鉄製のピンが押し込まれ、その間に小さなスプリングがはまっています。最初の日

本製は一世向け、一八九五年といふから明治二十八年に作られた「奥田」だ。館長に力があいており、音楽家協会に任じられた。最初の日本製だ。

いまのオルゴールは、すっかりメカセリ化してしまいましたが、古いものはどうして音楽をかきとる機械として、オルゴールに、愛着を持っていかなくてはならないか、オルゴール博物館は、

館長で同会員の市原の名村さんです。「十三年前に、奥田の昔からヨロッパ旅行のお土産に小さなオルゴールをもらいましたね。それでオルゴールといえは小物入れについてるものが知らなかったんです。これは面白い贈り物